

2023 9/26

No.2195

毎月第2・第4火曜日発行

政経 かながわ

一般社団法人
— 神奈川政経懇話会 —



JFEスチールは16日、東日本製鉄所京浜地区（川崎市川崎区）の高炉を休止した。日本の高度成長を支えた火が消える9日前には報道陣向け見学会を実施。今後、同地区は水素供給拠点など「次世代産業・複合開発ゾーン」へ転換が進む。



contents

| | |
|---------------------------------------|----|
| 視点点描 | 3 |
| 当事者になって知る痛み | |
| 特集 | 4 |
| 大阪・関西万博 深刻な準備不足 求めるべきは規模よりも質 | |
| 政治双眼鏡 | 8 |
| カラーがないのが「岸田カラー」、 改造人事、首相官邸の態勢強化不発に | |
| よんななエコノミー | 9 |
| 観光業の労働力、なぜ戻らない サービス・企画対価が低い日本 | |
| 平井久志×リアルワールド | 10 |
| 拳銃の弾頭がプラ製になっても | |
| グリーン&ブルー | 11 |
| 相模湾の未来、 水族館で考え食べて楽しむ | |
| くらし2023 | 12 |
| 取り残される中高年単身女性 生活困窮を訴え | |
| 神奈川景気データファイル | 14 |

事務局だより

◇2023年10月の講演会
10月12日(木)午後1時半～3時
ロイヤルホールヨコハマ
(横浜市中区山下町)
講師：駐横浜大韓民国総領事
金 玉彩(キム・オク
チェ)氏
演題：韓日新時代に向けて真
の歴史和解
—武寧王誕生の生涯から

◇2023年11月の講演会
11月29日(水)午後1時半～2時
40分
メルヴェーユ
(県民共済プラザビル)
講師：川崎市長 福田 紀彦氏

◇2023年12月定例講演会
=シンポジウム・交流会
12月15日(金)午前11時～13時
40分
崎陽軒本店(横浜駅東口)
講師：共同通信社の政治部長・
経済部長・外信部長

【お知らせ】神奈川政経懇話会では、会報「政経かながわ」に会員企業の新商品の紹介、地域貢献活動、人事などジャンルを問わずさまざまな会員情報を掲載しています。掲載の問い合わせなどは事務局 ☎045 (226) 2121。

視点 点描



当事者になって知る痛み

とうとう新型コロナウイルスに捕まった。感染症法上の位置づけが、5月8日に「2類相当」から「5類」に移行してからマスクなしの生活に切り替え、ようやく息苦しい生活から解放されたと喜んだのも束の間。8月のある朝、のどに違和感を覚え、まるで全身の細胞が「今までの風邪とは明らかに違うぞ」と一斉に警告音を鳴ら

したような感覚が始まりだった。周囲で感染者が増えてきたなど感じていただけに、県が9月7日に公表した県内定点医療機関の感染者数に得心が行った。8月28日〜9月3日の1週間で、1医療機関当たりの平均患者数が20・33人となり、5類移行後、初の20人超えに。受診動態の違いから単純比較はできないものの、第8波の

ピーク（参考値で18・72人）を上回った。ただ、これはあくまでも医療機関を受診した人の数。検査キットで陽性を確認し、自宅療養している人を含めると実際の感染者はもっと多いに違いない。

新型コロナウイルスの症状は、想像していたよりもはるかに辛かった。高熱、頭痛、全身関節痛、倦怠感、のどの痛み、吐き気、味覚異常が重なり、発症から3日は起き上がることができなかった。10日過ぎても回復せず、治らないのでは？

と怖くなった。症状が消えないまま、2週間後やつと職場復帰して驚いた。コロナ経験者が次々に励ましの言葉を掛けてくれたのだが、その多くが発症後1カ月は倦怠感や体力低下に苦しんでいた。中には1年経っても臭覚異常や肺機能低下を抱えている人もいた。こんなにも多くの人が辛い思いをしていたなんて考えたことすらな

かった。後遺症ははた目にはその辛苦が分かりづらい。だからなのか、多くの人が人知れず苦しみながら、同じ境遇の人にしか打ち明けづらいのかもしれない。同時期に感染した同僚が「体はしんどいけれど、痛みが分かるようになって、人として少し優しくなれた気がする」と笑う。後遺症を抱えずに済むならそれに越したことはないが、新たな痛みを知って視野が少し広がったのなら、悪いことばかりではなかった。

政府は9月に内閣感染症危機管理統括庁を設置。新型インフルエンザ等対策推進会議のメンバーも一新し、行動計画の見直しを進める。国民生活や経済への影響という観点からも後遺症の問題は決して小さくないはずだ。これからの議論を見守りたい。

（統合編集局編成部長

小野たまみ